

研究会・地域部会の報告書

提出者： 山本 博之 / 提出日： 2024.11.18

研究会・地域部会名	質量分析インフォマティクス研究会
代表者(所属機関名)	山本博之(ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ)
タイトル(イベント名)	第6回メタボロミクスソフトウェア講習会
日時	2024年11月15日
場所	東京農工大学小金井キャンパス工学部講義棟 L0031号室
共催団体	
後援団体	
参加人数	36名(うちJSBi会員：若干名)
<p>目的： 昨年度に引き続き、第6回メタボロミクスソフトウェア講習会を開催した。本講習会では、インフォマティクスが必ずしも専門でない研究者にもバイオインフォマティクスへの関心を持ってもらうことを目的の一つとしている。第6回の講習会では、これまでと同様にメタボロミクスに欠かせない質量分析データの解析技術に焦点を当て、特にメタボロミクスで広く使用されているMS-DIALソフトウェアのハンズオン講習会を実施した。また、GC×GCスペクトルデータの解析やリポドミクスデータの機械学習モデルの利用やパスウェイ可視化など、質量分析インフォマティクスの応用に関する広範なトピックについて紹介した。</p>	
<p>概要：本講習会では、松沢佑紀氏(講師は全員、東京農工大に所属)による「MS-DIAL 5を用いたGC-MSメタボロミクスデータ解析」、津川裕司氏とブヤントグトクブジンラハム氏による「MS-DIALとMS-FINDERの利用方法」、坂本七海氏と岡昂輝氏による「機械学習モデルによる脂質クラス予測とパスウェイ解析」をテーマにしたPC実習が行われた。参加者は事前に配布されたデータやスペクトルライブラリを使用し、実際にMS-DIALやMS-FINDER等を用いたデータ解析の実習を行った。ソフトウェアのパラメータ設定に関する実践的な説明や、津川先生からの有益なtipsの提供等があり、また参加者からも数多くの質問がなされた。</p>	
<p>成果および感想：参加登録36名に対して33名(3名が当日欠席)にご参加頂いた。参加者は、大学、研究所所属の方から企業の方まで、幅広い所属の方々にご参加いただいた。PCによる実習は会場での技術サポートが必要であることから、津川研究室の学生アシスタントを複数名準備し、出来るだけPC実習がスムーズに進むように配慮したことで、多くの参加者の方は問題なく解析が出来ていた様子だった。</p>	

